

議会だより

12月定例会

町議会12月定例会は12月14日(月)から24日(木)まで開かれ、13議案を審議し、すべて可決しました。主なものは、昭和62年度一般会計補正予算案など各会計の補正予算案、昭和61年度一般会計および特別会計の決算認定、都市下水道条例の制定、町税条例と国民健康保険税条例の一部改正などです。請願は2件上程され、すべて採択され、陳情された2件のうち1件は継続審査、1件は採択されました。一般質問には9人の議員が立ち、大野町の消雪パイプ、山田小学校、交通安全、企業誘致と商工振興などについて町長にたずねました。

日程

12月14日(月)	会期の決定。行政報告、議案の上程。議案の説明、質疑、討論、採決(議案55号～57号)委員会付託。(議案58号～61号、65号～67号)請願・陳情の上程、質疑、委員会付託。
15日(火)	議案の説明、質疑、討論、採決(議案62号～64号)
16日(水)	総務文教委員会
17日(木)	産業建設委員会
18日(金)	厚生企業委員会
21日(月)	予算委員会
22日(火)	一般質問
24日(木)	委員長報告、質疑、討論、採決(議案58号～61号、65号～67号)請願・陳情の審査報告、質疑、討論、採決

昭和61年度一般会計決算案

都市下水道条例案など

13議案を可決

議案

■黒埼町監査委員の選任(議案第55号)
保祐清一氏(黒鳥・62歳)を再任した。

■黒埼町監査委員の選任(議案第55号)
地方税法の一部改正に伴い改正。内容略。

■児童遊園設置条例の一部改正について(60)
今までの14児童遊園に、寺地団地児童遊園、寺地南団地児童遊園、善久新川向第一児童遊園、善久新川向第二児童遊園、善久新川向第三児童遊園、鳥原前川原第二児童遊園、鳥原前川原第三児童遊園、金巻公民館児童遊園、山田五反田児童遊園の9児童遊園を新たに追加、23児童遊園とする。

■都市下水道条例の制定について(61)
前川原ポンプ場、大野一号幹線、大野二号幹線、大野三号幹線、前川原幹線、放流渠の設置、管理及び使用に關し必要な事項を定める。

■61年度一般会計歳入歳出決算認定(62)
歳入39億3143万9078円、歳出38億5115万6460円で8028万2618円を62年度に繰越した。

■61年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定(64)
歳入8億1978万0361円、歳出7億9620万3513円で2357万6848円を62年度に繰越した。

■62年度一般会計補正予算(第3回)(65)
1億5302万円を増額し総額38億5990万8千円に補正された主なもの

■62年度水道事業会計補正予算(第1回)(66)
内容は省略。

■62年度ガス事業会計補正予算(第1回)(67)
内容は省略。

■町道認定及び道路整備に關する請願書(請願12)
提出者 大字木場区長 村井利幸 他4人

請願

■固定資産評価審査委員会委員の選任(56・57)
木口光之氏(八区・52歳) 村井利幸氏(木場下・59歳)を新たに選任した。

■黒埼町税条例の一部改正について(58)
地方税法の一部改正に伴い改正。内容略。

■黒埼町国民健康保険税条例の一部改正について(59)
増大や自治体の福祉施策の後退をもたらしている。保育・福祉行政の向上・充実をめざし、国のすすめる福祉制度の「改善」に反対する立場で政府・関係当局へ意見書を提出してほしい。

■初任者研修制度「試行の子算化」に反対し、教職員定数増などゆきとどいた教育実現のための諸施策の実施を求める意見書(決議)採択に關する陳情書(陳情6)
提出者 教育を良くする黒埼町民会議代表 鈴木隆二
新採用教員の個性・創造性を発揮する。

■61年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定(63)
歳入10億0876万1685円、歳出9億0058万5

■62年度一般会計補正予算(第3回)(65)
1億5302万円を増額し総額38億5990万8千円に補正された主なもの

■2件とも採択されました。
*義務教育費国庫負担制度の現行制度の維持に關する請願書(請願第11号)
提出者 新潟県教職員組合黒埼班長 伊藤卓治
学校事務職員と学校栄養職員の人員費を義務教育費国庫負担制度の対象から除外しようとする動きがあるが、これは義務教育費国庫負担法の「教育費」に該当しない。黒埼町特別職の給与並びに旅費に關する条例の一部改正について(議案第71号)
12月定例会での県道消雪パイプ敷設工事に關して議案に説明不足の点があり迷惑をかけたため、昭和63年1月1日から3月31日までの間、町長の給与の5%を減額する。

■62年度一般会計補正予算(第5回)(72)
町長の給与減額に伴う歳出の補正。

自治大臣に提出した。第8回臨時議会(26日)

■福祉施設の改善・充実、国庫負担削減の撤回を求める陳情書(陳情第5号)
提出者 くらしと福祉、地方自治を守る新潟県民連絡会代表 関谷恵美子
生活保護や福祉施設設置費などの国庫負担削減と地方自治体への肩替わりなどが、地方財政を圧迫し、住民負担の増大や自治体の福祉施策の後退をもたらしている。保育・福祉行政の向上・充実をめざし、国のすすめる福祉制度の「改善」に反対する立場で政府・関係当局へ意見書を提出してほしい。

■継続審査に意見書を提出してほしい。
県教育委員会委員長・県知事に意見書を提出してほしい。

■道路特定財源の堅持及び第十次道路整備五箇年計画等に關する意見書(4)
昭和63年度からの第十次道路整備五箇年計画等を円滑に進めるため、道路特定財源諸税の暫定税率を延長することなど、4項目を要望する意見書を内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、国土庁長官に提出した。

■国民健康保険制度の改革に關する意見書(6)
厚生省が提案している福祉医療制度は、単に低所得者を分離し、地方に負担を押しつけるものに過ぎず、地域差調整システムも国から地方へ負担を転嫁するだけのものである。厚生省提案の改革案に反対する意見書を内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣、自治大臣に提出した。

一般質問

(要旨)

■新沼燕線の交通安全対策は警察や県と協議して対応する
A議員 交通安全対策について(12月7日開通)により交通量が増えるが、町の今後の対策は、①木場川前線の高速道路ボックスの改修は、大型車が通れない。歩道のボックスを作れないか。②須上線の歩道やほかの歩道の除雪はできないか。③大野新町、諏訪町を通る大型ダンプは規制できないか。④新幹線の側道を今後どう利用するか。側道を拡幅するか。⑤木場保育所前に信号設置を。⑥黒埼西川線

と新潟燕線工事中・木場の交差点対策は。
町長 ①現在、一部歩道の設置工事中であり、今後も県に要望していく。②道路公団等と協議したい。③本年度は無理。除雪委託業者は22社あり、うち3台しか歩道用除雪機を持っていない。④地元からくり返し陳情を受けている。現

■諏訪町の消雪パイプ、排水に問題はないか
水量は1時間15ミリの降雨と同じで問題ない
A議員 大野町商店街の消雪パイプについて。①県道新潟寺泊線の諏訪町内約百メートルに県が消雪パイプを設置しているが、工事にあたり地元住民との話し合いの内容は。

時点ではできない。⑤7月に山田地内で供用開始。今後も漸次整備する。
助役 ⑤側道の拡幅は考えていない。
総務課長 ②ボックスにカーブミラーが必要と考えている。⑥早急な設置は無理。⑦燕線の工事が終了していない。警察、新潟土木事務所と協議。

■63年度の交通安全施策の重点は交通安全推進委員の設置など
B議員 昭和63年度交通安全施策に係る予算配分と重点項目について。交通事故防止は道路整備等も重要である。①黒埼地内の国、県、町道交差点で信号機の無い箇所と対策は。62年度は県全体で信号機が20機しかついていない。②県に何を要望するのか。③国道等の信号は歩行者が十分に渡れる時間があるのか。④黒埼地内の電車線路(8.5キロ)

ことで、問題はない。④県、地元と協議の上、今後も商工振興対策としても取り組んでいきたい。



■交通安全対策について(12月7日開通)により交通量が増えるが、町の今後の対策は、①木場川前線の高速道路ボックスの改修は、大型車が通れない。歩道のボックスを作れないか。②須上線の歩道やほかの歩道の除雪はできないか。③大野新町、諏訪町を通る大型ダンプは規制できないか。④新幹線の側道を今後どう利用するか。側道を拡幅するか。⑤木場保育所前に信号設置を。⑥黒埼西川線

と新潟燕線工事中・木場の交差点対策は。
町長 ①現在、一部歩道の設置工事中であり、今後も県に要望していく。②道路公団等と協議したい。③本年度は無理。除雪委託業者は22社あり、うち3台しか歩道用除雪機を持っていない。④地元からくり返し陳情を受けている。現

■諏訪町の消雪パイプ、排水に問題はないか
水量は1時間15ミリの降雨と同じで問題ない
A議員 大野町商店街の消雪パイプについて。①県道新潟寺泊線の諏訪町内約百メートルに県が消雪パイプを設置しているが、工事にあたり地元住民との話し合いの内容は。

時点ではできない。⑤7月に山田地内で供用開始。今後も漸次整備する。
助役 ⑤側道の拡幅は考えていない。
総務課長 ②ボックスにカーブミラーが必要と考えている。⑥早急な設置は無理。⑦燕線の工事が終了していない。警察、新潟土木事務所と協議。

■63年度の交通安全施策の重点は交通安全推進委員の設置など
B議員 昭和63年度交通安全施策に係る予算配分と重点項目について。交通事故防止は道路整備等も重要である。①黒埼地内の国、県、町道交差点で信号機の無い箇所と対策は。62年度は県全体で信号機が20機しかついていない。②県に何を要望するのか。③国道等の信号は歩行者が十分に渡れる時間があるのか。④黒埼地内の電車線路(8.5キロ)

ことで、問題はない。④県、地元と協議の上、今後も商工振興対策としても取り組んでいきたい。